

龍谷大學

# 佛教文化研究所紀要

第 55 集

2016

龍谷大学

佛教文化研究所紀要

第 55 集

# 目次

## 共同研究

三業惑乱関連書籍の翻刻と註釈 ……………主任殿内恒…………(二)

## 常設研究

龍谷大学図書館所蔵の

真宗古文献の翻刻・研究 ……………主任龍溪章雄…………(五)

## 第八十五回 仏教文化講演会記録

一切経伝播の鍵を握る経録……………国際仏教学大学院大学学長落合俊典…………(三二)

——近世写本『貞元録』から考える——

## 研究員報告

The Da amituo jing and the Guan

wuliangshoufo jing …………… Yue XIAO ……(67)

個人研究

大谷光瑞の提唱する「熱帯農業の奥義」  
に関する農学的検証……………玉井鉄宗……………(53)

常設研究

仏教写本の総合的研究……………主任若原雄昭……………(36)

共同研究

多田等観将来資料「釈尊絵伝」の研究……………主任能仁正顕……………(1)

研究所彙報  
研究所規程  
編集後記

龍谷大学 佛教文化研究所紀要 第五四集 二〇一五年

目次

指定研究

龍谷大学大宮図書館蔵中世国語資料の研究

——「名目抄」「恒例諸公事篇付神事佛事」について——

主任 藤田保幸

常設研究

明治期仏教雑誌の研究

主任 赤松徹眞

個人研究

西本願寺初期「学寮」の

取り崩しをめぐる政治的攻防について

平田厚志

個人研究

日本仏教の初期台湾布教(2)

——占領地布教と各種付帯事業の展開——

中西直樹

特別指定研究

大正新脩大藏經の學術用語に関する研究

——仏教における生死観の研究——

主任 道元徹心

第八十四回 仏教文化講演会記録

仏教研究の最前線——龍谷大学から世界へ——

桂紹隆

個人研究

手塚治虫の「ブッダ」の英訳について

——関連性理論による分析——

東森 勲

特別指定研究

大谷探検隊将来トカラ語資料をめぐる(2)

荻原裕敏

慶昭蓉

彙報

平成二十八(二〇一六)年一月より十二月までの本研究所の運営状況について以下その概況を記すこととする。

第八十五回仏教文化講演会は、平成二十八年十一月二十五日に第八十五回(一切経伝播の鍵を握る経録―近世写本「貞元録」から考える―)を開催している。また、仏教文化セミナーは、後掲のとおり開催された。このセミナーは主に大学院生・一般を対象に、本研究所の研究について高度な研究成果の還元を行うことを目的としており、毎年度3〜4回開講している。

平成二十八(二〇一六)年度の研究は、次に列記するように、指定研究二件(継続二)、共同研究五件(継続二、新規三)、常設研究三件(継続三)、特別指定研究三件(継続三)、そして個人研究一件(新規一)が設置され、合計十四件の研究組織が推進された。

●運営会議・常任委員会報告

(一) 役員構成

第四十四期運営会議構成員(任期・平成二十八年四月一日〜平成二十九年三月三十一日)

- 鍋島直樹(真宗学料)
- 能仁正頭(仏教学料)

楠 淳 證 (仏教学料)

丸山 徳次 (哲学料・哲学専攻)

東 豊 (臨床心理学料)

中川 修 (歴史学料・日本史学専攻)

日下 幸男 (日本語日本文学料)

藤本 雅樹 (英語英米文学料)

玉木 興慈 (短期大学部)

道元 徹心 (理工学部)

杉岡 孝紀 (農学部)

田 辺 等 (研究部事務部長)

第四十四期研究所役員(任期・平成二十八年四月一日〜平成二十九年三月三十一日)

所 長 能仁正頭

副 所 長 鍋島直樹

主 任 (研究調査部) 藤本雅樹

主 任 (事業部) 東 豊

常任委員(所 長) 能仁正頭

(副 所 長) 鍋島直樹

(第十四条に定める研究調査部主任) 藤本雅樹

(第十四条に定める事業部主任) 東 豊

(運営会議が選任する委員) 丸山徳次

(運営会議が選任する委員) 中川修

(運営会議が選任する委員)

(仏教文化研究所事務室担当課長)

吉貞 正流

(2) 平成二十七年第七回運営会議(二月二十日(水) 午後〇時三十分〜午後〇時五十分)

① 受託研究の受け入れについて  
提案どおり承認された。

(3) 平成二十七年第八回運営会議(三月十五日(水) 午後〇時三十分〜午後〇時五十分)

① 二〇一六(平成二十八)年度運営体制・運営会議構成員について

運営会議及び常任委員構成員は前掲のとおり選出された。

② 二〇一六(平成二十八)年度兼任研究員・客員研究員について  
提案どおり承認された。

③ 二〇一六(平成二十八)年度嘱託研究員について  
提案どおり承認された。

(4) 平成二十八年度第一回運営会議(四月二十日(水) 午後〇時三十分〜午後一時四十分)

① 二〇一六(平成二十八)年度研究体制・役員について  
前掲のとおり承認された。

② 二〇一六(平成二十八)年度客員研究員等の追加・取消・変更について  
提案どおり承認された。

③ 二〇一六(平成二十八)年度研究所予算について

提案どおり承認された。

- ④ 二〇一六（平成二十八）年度仏教文化研究所紀要第五十五集・所報第四十号の執筆予定者について提案どおり承認された。

- ⑤ 二〇一六（平成二十八）年度仏教文化講演会・仏教文化セミナー・研究談話会の開催について提案どおり承認された。

- ⑥ 二〇一五（平成二十七）年度研究PJ研究年次経過報告書の評価について提案どおり承認された。

- ⑦ 仏教文化研究所から世界仏教文化研究センターへの移行に伴うワーキンググループの設置について提案どおり承認された。

- ⑧ 平成二十八年度第二回運営会議（六月一日（水）～六月七日（火）） ※EMGII審議

- ⑨ 二〇一五（平成二十七）年度研究PJ年次経過報告書の評価について提案どおり承認された。

- ⑩ 平成二十八年度第三回運営会議（七月十三日（水）午後〇時三十分～午後一時）

- ⑪ 二〇一七（平成二十九）年度研究プロジェクトの募集について提案どおり承認された。

- ⑫ 二〇一七（平成二十九）年度専任研究員の募集について提案どおり承認された。応募締切日：十月十三日

(木)

- ③ 二〇一七（平成二十九）年度善本叢書・仏教文化研究叢書の出版助成募集について提案どおり承認された。応募締切日：十月十三日

- ④ 二〇一六（平成二十八）年度兼任研究員・客員研究員・嘱託研究員の追加・取消について提案どおり承認された。

- ⑤ 二〇一六（平成二十八）年度仏教文化研究所客員研究員・嘱託研究員への研究者番号発行について提案どおり承認された。

- ⑥ 平成二十八年度第四回運営会議（十月十九日（水）午後〇時三十分～午後〇時五十分）

- ⑦ 二〇一七（平成二十九）年度研究プロジェクト採用審査について提案どおり承認された。

- ⑧ 二〇一七（平成二十九）年度専任研究員について該当がない旨、承認された。

- ⑨ 二〇一七（平成二十九）年度出版助成（善本叢書・研究叢書）の予算案について左記のとおり承認された。

- (一) 善本叢書 「中世国語資料集」 藤田保幸
- (二) 研究叢書 「反省会雑誌とその周辺」 赤松徹眞

- ④ 二〇一七（平成二十九）年度沼田奨学金（研究奨学金）受給者の推薦審査および外国人客員研究員の任用について

シクデル・モノアレ・ムルシェド氏、ジーナト・フダ氏、ディリア・クマル・バルア氏（以上、バングラデッシュ）が推薦、任用された。

- ⑤ 「仏教文化研究所紀要第五十五集」の執筆者追加について提案どおり、承認された。

●研究事業計画

平成二十八年度の研究題目及び主査（代表者）は左記のとおりである。

- 一 指定研究―龍谷大学図書館所蔵貴重書の研究―
- (一) 龍谷大学図書館蔵中世国語資料の研究（三年次）

- 主査 藤田 保幸（日本語日本文学科）
- (二) 「教行信証」（文明本）の研究（二年次）
- 主査 川添 泰信（真宗学科）

- 二 共同研究
- (一) 大宮図書館蔵イスラーム関連資料の研究（二年次）
- 主査 近藤 真美（歴史学科・東洋史学専攻）

- (二) 近世通俗仏書の研究（二年次）
- 主査 和田 恭幸（日本語日本文学科）

- (三) 日本におけるチベット仏教文化の研究（一年

次) 一多田等観の将来資料を中心に

主査 能仁 正顕(仏教学科)

(四) 宗教関係法令の研究(一年次)

主査 藤原 正信(歴史学科・日本史学)

専攻)

(五) 仏教婦人会の研究(一年次)

主査 中西 直樹(歴史学科・仏教史学)

専攻)

三 常設研究

(一) 龍谷大学図書館所蔵の真宗古文獻の翻刻・研究(二年次)

主査 龍溪 章雄(真宗学科)

(二) 仏教写本の総合的研究(二年次)

主査 若原 雄昭(仏教学科)

(三) 明治期仏教雑誌の研究(三年次)

主査 赤松 徹眞(仏教史学専攻)

四 特別指定研究

(一) 大谷探検隊将来資料の総合的研究(西域文化研究会)

主査 入澤 崇(仏教学科)

(二) 大正新脩大藏經の学術用語に関する研究(大藏經学術用語研究会)

主査 道元 徹心(仏教学科)

(三) 仏教經典の翻訳と研究(仏典翻訳研究会)

主査 那須 英勝(真宗学科)

五 個人研究

(一) 児童養護施設内心理療法師士の職務調査

生活担当職員の心理担当者に求める職務

森田 喜治(臨床心理学科)

●出版物案内

一 「仏教文化研究所報」第四十号(平成二十八年十二月二十六日刊)

内容 目次

研究ノート一

龍谷大学図書館中世国語資料の研究について

余田 弘実

研究ノート二

“Srikip: A Memory of the Buddhism

behind the Toponym”

Kohichi Kitudo

二 「仏教文化研究所紀要」第五十五集(平成二十九年三月二十七日刊)

内容 目次 別掲

●公開講演会開催

平成二十八年年度

第八十五回仏教文化講演会

日時 十一月二十五日(金) 午後三時〜午後四時三十分

会場 大宮学舎滑和館三階ホール

講題 一切経伝播の鍵を握る経録―近世写本

「貞元録」から考える―

講師 落合 俊典氏(国際仏教学大学院大学)

学長)

●研究談話会開催

平成二十七年年度

一月二十一日(木) 午後六時〜午後八時

第十一回研究談話会(若原研究P J)

会場 大宮学舎南翼一〇二教室

講題 「大乘莊嚴經論」第三章「種姓品」解説

に向けて―註釈文獻にみる問題点―

講師 岡田 英作氏(京都大学非常勤講師)

一月二十八日(木) 午後三時〜午後四時三十分

第十回研究談話会(藤田研究P J)

会場 大宮学舎西翼三階小会議室

講題 龍谷大学図書館蔵「職原抄」の資料的性

格

講師 宇都宮啓吾氏(大阪大谷大学教授・本

学仏教文化研究所客員研究員)

二月五日(金) 午後一時〜午後四時

第九回研究談話会(赤松研究P J)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講題 仏教雑誌にみる大正期の台湾布教

講師 中西 直樹氏(本学文学部教授)

講題 課題としての戦時下の日本仏教と南方地

域

講師 大澤 広嗣氏(文化庁文化庁宗務課専門

職)

※主催：仏教文化研究所・アジア仏教文化

研究センター (BARC)

共催：龍谷学会

二月二十二日(月) 午後二時～午後四時

第十二回研究談話会 (殿内研究P J)

会場 大宮学舎滑風館 講義室B-1〇三

講師 越中水見・尺仲宣学派の順末

―新出資料「禪客覺徒破会評決」、西光

寺書籍目録」の紹介―

講師 森越 博氏 (水見市立図書館副主幹)

二月二十五日(木) 午後一時十五分～午後四時三

十分

第十三回研究談話会 (能仁研究P J)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講師 インドの「舍衛城の神変」図について

講師 宮治 昭氏 (本学文学部教授)

講師 舍衛城神変と多田等親将来釈尊絵伝

講師 岡本 健資氏 (本学政策学部准教授)

講師 釈尊絵伝にみられる仏弟子たちの物語

講師 岩田 朋子氏 (本学龍谷ミュージアム

講師)

講師 阿闍世教化の伝承と釈尊絵伝

講師 能仁 正頼氏 (本学文学部教授)

講師 三谷 真澄氏 (本学国際学部教授)

※共催：世界仏教文化研究センター

協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

三月八日(火) 午後三時～午後五時

第十四回研究談話会 (道元研究P J)

会場 大宮学舎滑風館 共同研究室三〇一・三

〇二

講師 平安時代の密教浄土教

講師 苜米地誠一氏 (大正大学教授)

三月九日(水) 午後六時～午後七時三十分

第十五回研究談話会 (和田研究P J)

会場 大宮学舎南翼一階一〇二教室

講師 天草版「平家物語」の「天道」―その造

型と思想―

講師 中本 茜氏 (本学非常勤講師・本学仏

教文化研究所客員研究員)

三月二十九日(火) 午後三時～午後四時三十分

第十六回研究談話会 (近藤研究P J)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講師 大宮図書館蔵「古蘭天経」をめぐって

講師 近藤 真美氏 (本学文学部准教授)

平成二十八年度

五月十八日(水) 午前十時四十五分～午後〇時十

五分

第一回研究談話会 (若原研究P J)

会場 大宮学舎滑風館共同研究室 一・二

講師 インドの伝統におけるヨーガ

講師 アーデルハイトメッテ氏 (ミュンスタ

―大学名哲教授)

通訳 檜山 智美氏 (日本学術振興会SPD

研究員・本学西域仏教研究室)

※共催：世界仏教文化研究センター

五月二十八日(土) 午前四時四十分～午後六時

第二回研究談話会 (若原研究P J)

会場 大宮学舎西翼二階 大会議室

講師 中観・瑜伽行両派間に展開する二諦解釈

について

講師 早島慧氏 (本学非常勤講師・本学仏教

文化研究所客員研究員)

講師 シャーンタラクシタの二諦観

講師 一郷 正道氏 (京都光華女子大学学長)

六月二十一日(火) 午後一時十五分～午後四時三

十分

第三回研究談話会 (那須研究P J)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講師 テーマ 仏教の女性観を考える―ジェンダーの

視点から―

講師 女性の成仏について―改転の成仏と即身

成仏をめぐって―

講師 岡田真美子氏 (兵庫県立大学学名哲教

授・身延山大学客員教授)

講師 ジェンダー不平等な現状に関する報告

講師 飯島 恵道氏 (曹洞宗兼王山東昌寺・

花園大学非常勤講師)

※共催：世界仏教文化研究センター

協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

六月二十四日(金) 午後三時〜午後四時三十分

第四回研究談話会 (能仁研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 日本におけるチベット仏教文化の研究

―多田等観の将来資料を中心に―

議題 「真実撰経」(Sarva-tathāgata-tattva-saṃgraha Sūtra) に説かれる釈迦如来

の成道―その密教思想上の意義―

講師 亀山 隆彦氏 (本学非常勤講師・本学

仏教文化研究所客員研究員・本学世界仏

教文化研究センターRA)

議題 グライ・ラマ六世倉央嘉措詩作の中の

「道」と「情」

―拉薩本とDAS本の本文異同を視野に―

講師 李 曼寧氏 (本学仏教文化研究所嘱託

研究員・本学世界仏教文化研究センター

RA)

※共催：世界仏教文化研究センター

六月三十日(木) 午後三時〜午後五時三十分

第五回研究談話会 (入澤研究PJ)

会場 大宮学舎清和館三階ホール

議題 「観無量寿仏経」の成立―「大阿弥陀経」

との関連を中心に―

講師 肖 越氏 (佛教大学総合研究所研究

員・本学仏教文化研究所客員研究員・沼

田研究奨学金受給者)

※共催：世界仏教文化研究センター

七月八日(金) 午前十時四十五分〜午後〇時十五

分

第六回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

議題 英語でブツター仏教のグローバル化とそ

の可能性―

講師 大来 尚順氏 (仏教伝道教会職員・翻

訳家・通訳・浄土真宗本願派僧侶)

八月二日(火) 午後五時〜午後六時三十分

第七回研究談話会 (中西研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

議題 真宗布教近代化の一断面―本願寺派「特

殊布教」の成立過程を中心に―

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

コメンテーター 嵩 満也氏 (本学国際学部

教授)

※共催：世界仏教文化研究センター

協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

八月二日(金) 午後二時〜午後五時

第八回研究談話会 (藤田研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 日本語史の中の中世

議題 「古」なるものへの意識

講師 山本 真吾氏 (白百合女子大学文学部

教授)

議題 中世辞書が参照し採録し省略したものに

就いて

講師 鈴木 功貞氏 (日本大学文理学部教授)

九月十九日(月) 午後五時〜午後六時三十分

第九回研究談話会 (赤松研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

議題 仏教英得刊行の濫觴―オルコット「仏教

問答」の刊行とその影響―

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

十月十二日(水) 午前十時四十五分〜午後〇時十

五分

第十回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎北翼二〇四教室

議題 「歎異抄」の翻訳を通してみた親鸞思想

―イスラーム学者の視点から―

講師 アボルガセム・ジャーファリー博士

(イラン・コム宗敎大学講師(東洋宗敎

学))

司会/通訳 那須 英勝氏 (本学文学部教授)

※共催：世界仏教文化研究センター

協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

十月二十七日(木) 午後一時十五分〜午後四時十

五分

第十一回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎西翼大会議室

議題 現代真宗とジェンダー―敎団・寺院・女

性―

講師 池田 行信氏 (浄土真宗本願寺派 慈願寺住職)

横井 桃子氏 (関西学院大学社会学部 非常勤講師)

コメンテーター 龍溪 章雄氏 (本学文学部教授)

猪瀬 優理氏 (本学社会学部准教授)

※共催：世界仏教文化研究センター  
協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

十一月四日(金) 午後四時～午後六時

第十二回研究談話会 (中西研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講題 近現代の宗教界と公益法人制度―仏教婦人会の法人化を中心に―

講師 大澤 広嗣氏 (文化庁文化部宗務課専門職)

十一月十八日(金) 午後一時～午後五時三十五分

第十三回研究談話会 (入澤研究PJ)

会場 大宮学舎 西翼二階 大会議室

講題 中央アジア出土資料のデジタルアーカイブ―その現状と課題―

講師 Dr.Susan Whitfield 氏 (British Library IDP Director)

講題 大谷文書紙質の科学分析が明かす敦煌・中央アジア文書の今一つの意味

講師 江南 和幸氏 (本学名誉教授)

講題 文献資料のデジタルアーカイブの意義

―大谷探検隊とドイツトルファン隊の文字資料調査の立場から―

講師 三谷 真澄氏 (本学国際学部教授)

講題 西域仏教美術のデジタルアーカイブ―クチャの仏教壁画の事例から―

講師 檜山 智美氏 (日本学術振興会特別研究員・本学仏文研客員研究員)

講題 大谷探検隊収集の植物標本のデジタルアーカイブと復元

講師 窓場真太郎氏 (本学大学院理工学研究科修士課程)

倉石 沙織氏 (古典籍デジタルアーカイブ研究センター)

岡田 至弘氏 (古典籍デジタルアーカイブ研究センター長)

総合司会 本学国際学部教授 三谷 真澄氏  
※共催：世界仏教文化研究センター  
協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

第十四回研究談話会 (川添研究PJ)

十二月二十日(火) 午後六時～七時三十分

会場 大宮学舎南翼二階二〇四教室

講題 西本願寺本「教行信証」について

講師 富島 信海氏 (浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手)

第十五回研究談話会 (道元研究PJ)

十二月二十日(火) 午後五時～六時三十分

会場 大宮学舎清風館三階 共同研究室一・二

講題 源信浄土教研究の現状について

講師 大澤 広嗣氏 (文化庁文化部宗務課専門職)

●仏教文化セミナー開催  
平成二十八年度  
二月八日(月) 午後五時三十分～午後七時三十分

第十九回仏教文化セミナー  
会場 大宮学舎西翼三階小会議室

講題 真宗教学史上における「越後法論」の意義 ―三業惑乱への系譜―

講師 井上 見淳氏 (本学文学部准教授)

三月九日(水) 午後一時～午後三時  
第二十回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室三〇一・三〇二

講題 「南方曼陀羅」と「華嚴経」の接点

講師 唐澤 太輔氏 (本学世界仏教文化研究センターP.D.)

※共催：世界仏教文化研究センター  
協力：アジア仏教文化研究センター

六月二日(木) 午後五時四十五分～午後七時十五分

第二十一回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講題 龜茲国の仏教石窟壁画の図像学

講師 榎山 智美氏 (日本学術振興会SPD研究員・本学仏教文化研究所客員研究員)

七月二十二日(金) 午後四時〜午後五時三十分

第二十二回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

講題 出土文書と石窟銘文からみたウイグル仏教徒の巡礼活動

講師 松井 太氏 (大阪大学大学院文学研究科准教授)

●二〇一六年度 外国人客員研究員記録

イムレ・ガランボス (ハーバード大学)

榮 新江 (北京大学歴史系教授)

エルダール・キユチュキユアルチュン (トルコ日本研究学会理事)

王 振芬 (旅順博物館館長)

慶 昭蓉 (本学仏教文化研究所客員研究員)

コンカールタナラック・プラボンサック (タイ国タンマガーイ寺院大阪別院住職/本学非常勤講師)

ザイレ・フロリアン (カリフォルニア大学パークレー校非常勤講師・興福寺僧侶)

肖 越 (仏教大学総合研究所特別研究員)

スタン・シャキヤ (種智院大学准教授)

ダニエルG・フレドリック (マクマスター大学宗教学部 大学院研究員)

ダンドウル (中国蔵学研究中心副所長)

チャールズ・ハリシー (ハーバード大学神学部教授)

張 希清 (北京大学中古史研究中心教授)

P・ツイーメ (ベルリンヒンブルク学術アカデミー)

ディワカル・アーチャールヤ (京都大学大学院文学研究科教授)

トーマス・シーハン (スタンフォード大学教授)

方 廣錫 (上海師範大学教授)

房 学恵 (旅順博物館副館長)

関 丙熙 (韓国国立中央博物館館員)

S・ラッシュマン (Göttingen Academy of Sciences)

羅 鴻 (中国蔵学研究中心副研究員)

李 学竹 (中国蔵学研究中心研究員)

李 済滄 (南京師範大学講師)

李 美香 (東国大学校講師)

李 光溶 (韓国東西心理学研究所所長・法華精舎研究顧問)

李 際寧 (中国国家図書館善本部副主任)

劉 安志 (武漢大学中国三至九世紀研究所教授)

劉 梅玲 (本学非常勤講師)

C K・レック (Göttingen Academy of Sciences)

氏 名 肖 越氏

(中華人民共和国 仏教大学 総合研究所 特別研究員)

研究課題 「大阿弥陀経」成立の文献学的な研究

指導教授 三谷 真澄 国際学部教授

研究期間 二〇一六年四月一日〜二〇一六年六月三十日

特別研究員

研究期間 二〇一六年四月一日〜二〇一六年六月三十日

# 仏教文化研究所規程

## 設立 制 定 一部改正

昭和三十六年 四月一日  
昭和六三年 二月一日  
平成 四年 一月一六日  
平成 六年 六月九日  
平成 一一年 一月二五日  
平成 一三年 九月二七日  
平成 一四年 五月一六日  
平成 一五年 五月一五日  
平成 一九年 七月五日  
平成 二四年 四月一日

## 第一章 総 則

### (目的)

第一条 この規程は、龍谷大学学則第七〇条に定める  
仏教文化研究所(以下「仏文研」という。)について、  
その組織及び運営等必要な事項を定めることを目的  
とする。

### (所在地)

第二条 仏文研は、龍谷大学大宮学舎内に置く。

### (仏文研の目的)

第三条 仏文研は、仏教文化及びその関連領域に関す  
る総合的学術研究並びに国際的研究交流を行い、も  
つて学術研究の向上に寄与することを目的とする。

### (事業)

第四条 仏文研は、前条の目的を達成するために次の  
事業を行う。

- (1) 仏教文化及びその関連領域に関する研究・調査
- (2) 研究・調査に必要な図書・資料及び情報の収集  
管理

- (3) 紀要、叢書、所報等研究成果の刊行
- (4) 研究会、公開講座、講演会等の開催
- (5) 国内外の大学及び研究機関との研究交流
- (6) その他前条の目的を遂行するために必要な事業

## 第二章 運営会議

### (運営会議)

第五条 仏文研に、重要な事項について審議・決定す  
るため、仏教文化研究所運営会議(以下「運営会議」  
という。)を置く。

二、次の各号に掲げる事項は、運営会議において決定  
すること。

- (1) 事業計画に関すること。
- (2) 研究所予算に関すること。
- (3) 指定研究、研究プロジェクトの設置・廃止に関  
すること。
- (4) 研究員及び委託研究員の受入れに関すること。
- (5) その他仏文研における重要な事項

### (構成)

第六条 運営会議は、次の各号に掲げるもので構成す  
る。

- (1) 所長及び副所長 七名
  - (2) 文学部教授会が選任する者 一名
  - (3) 短期大学部教授会が選任する者 一名
  - (4) 学長が指名する者 若千名
  - (5) 専任研究員
  - (6) 研究部事務部長
- 二、前項第二号、第三号、第四号及び第五号による者  
の任期は、一年とする。ただし、再任を妨げない。
- (招集)  
第七条 運営会議は、所長が必要と認める都度招集し、  
所長は会議の議長となる。
- (定足数等)  
第八条 運営会議は、構成員の過半数の出席により成  
立し、議事は出席者の過半数の同意により決定する。

## 第三章 組 織

### (部の設置)

第九条 仏文研に研究調査部及び事業部を設ける。  
二、研究調査部は、第四条に規定する事業のうち、研  
究及び調査並びに各指定研究及び各研究プロジェク  
トの推進・調整に関する事業を分担する。

三、事業部は、第四条に規定する事業のうち、資料の  
収集・整理及び研究成果の公刊並びに研究交流等に  
関する事業を分担する。

### (指定研究)

第一〇条 仏文研に、特定の課題を研究する指定研究  
を置く。

### (研究プロジェクト)

第一一条 仏文研に、常設研究プロジェクト・特別指  
定研究プロジェクト及び時限研究プロジェクトを置く。  
二 常設研究プロジェクトは、次のとおりとする。

- (1) 真宗学研究プロジェクト
  - (2) 仏教学研究プロジェクト
  - (3) 仏教史学研究プロジェクト
- 三、特別指定研究プロジェクトは、次のとおりとする。
- (1) 西域文化研究会
  - (2) 仏典翻訳研究会
  - (3) 大蔵経学術用語研究会
- 四、時限研究プロジェクトは、必要の都度設置する。

### (附属研究センター)

第二二条 仏文研に設置する指定研究及び研究プロジ  
ェクトは、研究の活性化・高度化を推進するために  
運営会議が必要と認める場合「付属研究センター」  
を呼称することができる。  
二、付属研究センターの運営等については別途に定め  
る。

## 第四章 職員組織

(所長、副所長)

第一三條 仏文研に、所長及び副所長各一名を置く。  
二、所長は、仏文研の業務を統括し、仏文研を代表する。

三、副所長は、所長を補佐し、所長事故ある時はその職務を代理する。

四、所長及び副所長は、運営会議の推薦する者に対して、学長が任命する。

五、所長及び副所長の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

(主任)

第一四條 第九条に定める部に、主任各一名を置く。

二、主任は、各部の業務を調整処理する。

三、主任は、本学(短期大学部を含む。以下、同じ。)の専任教職員の内から、運営会議において選任する。(主査)

第一五條 第一条に定める研究プロジェクトには、それぞれ主査一名を置く。

二、主査は、当該研究プロジェクトを主宰し、その活動を調整推進する。

三、主査は、本学専任教職員の内から、運営会議において選任する。

(常任委員会)

第一六條 運営会議の決定事項の執行及び委任事項の処理並びに日常業務の連絡・調整を図るため、所長のもとに常任委員会を置く。

二、常任委員会は、次の各号の者で構成する。

- (1) 所長及び副所長
  - (2) 第一四條に定める主任
  - (3) 運営会議が選任する者 若干名
  - (4) 仏文研課長
- 三、常任委員会には、必要に応じて主査を加えることができる。

## 第五章 研究員

(研究員)

第一七條 仏文研に、次に掲げる研究員を置く。

- (1) 専任研究員
- (2) 兼任研究員
- (3) 客員研究員
- (4) 嘱託研究員

(専任研究員)

第一八條 専任研究員は、仏文研に所属する専任教職員より、専任研究・調査に従事する者をいう。

二、専任研究員の任用については、別に定める。

(兼任研究員)

第一九條 兼任研究員は、仏文研の活動に参加する本学の専任教職員をいう。

二、兼任研究員は、所長が候補者を推薦し、学長が委嘱する。ただし、その候補者が専任教職員である場合は、その候補者の所属する教授会の承認を得るものとする。

三、専任教職員は所長に対して、兼任研究員となることを願出することができるものとする。

四、兼任研究員の任期は、一年間又は二年間とする。ただし、再任を妨げない。

(客員研究員)

第二〇條 客員研究員は、学外の研究者でその身分のまま一定期間仏文研に所属して、研究・調査活動に従事する者をいう。

二、客員研究員は、所長が候補者を推薦し、運営会議の承認を経て、学長が委嘱する。

(嘱託研究員)

第二一條 嘱託研究員は、前三條に規定する以外の者で仏文研の活動に参加する者をいう。

二、嘱託研究員の任用は、前条第二項の規定を準用する。(受託研究員)

第二二條 仏文研は、受託研究員を受入れることができる。

二、受託研究員の受入れについては、別に定める。

## 第六章 補 則

(事務)

第二三條 仏文研に、仏文研の事務を処理するため仏文研事務室を置く。  
二、仏文研事務室に、必要な事務職員を置く。(改廃)

第二四條 この規程の改正又は廃止は、運営会議の発議により大学評議会において決定する。

付 則 一、この規程は、昭和六三年二月一日から施行する。

二、この規程の施行に伴い、従前の龍谷大学仏教文化研究所規程(昭和六三年四月一日施行)は、廃止する。

三、この規程施行当初の所長は、第二二條の規定にかかわらず従前の規定による所長があたるものとし、運営会議は、第六條の規定にかかわらず従前の規定による協議委員を以て構成するものとする。

付 則 (平成四年一月一六日題名、第一条改正) この規程は、平成四年一月一六日から施行する。

付 則 (平成六年六月九日第六條改正) この規程は、平成六年六月九日から施行する。

付 則 (平成一年一月二五日第一条改正) この規程は、平成一年一月二五日から施行する。

付 則 (抄) (平成一三年九月二七日第六條改正) 一、この規程は、平成一三年四月一日から施行する。

付 則 (平成一四年四月一六日第六條改正) この規程は、平成一四年四月一六日から施行する。

付 則 (平成一五年五月一五日第一条改正) 一、この規程は、平成一五年四月一日から施行する。

二、この規程の施行に伴い、現に、仏教文化研究所事務室事務長にある者は、この規程による課長とみなす。

付 則 (平成一九年七月五日第一二条新設、第一三條以下繰下、第一六條改正) この規程は、平成一九年七月五日から施行する。

付 則 (平成二四年三月一日第五條、第六條、第九條、第一一條、第一二條、第一六條改正) この規程は、平成二四年四月一日から施行する。

## 編集後記

「佛教文化研究所紀要」第五十五集をお届けいたします。本集には平成二十八年年度の研究成果として、常設研究二、共同研究二、個人研究一の研究論文五篇、研究員報告一点を掲載することが出来ました。各研究プロジェクトの研究成果をおまとめ下さいました研究代表の先生方、並びにご執筆下さいました研究員の方には心より御礼申し上げます。

本年度の仏教文化講演会は、十一月に国際仏教学大学院学長の落合俊典先生に「一切経伝播の鍵を握る経録『近世写本『貞元録』から考える』という講題でご講演いただきました。先生にはご多忙にもかかわらず、貴重なご講演をいただき、心より感謝申し上げます。そのご講演記録を本集に掲載させていただきます。

その他、毎年実施しております仏教文化セミナーは、本年度は四回開催いたしました。二〇一六年六月には第二十一回を、日本学術振興会SPD研究員で本学仏教文化研究所客員研究員の檜山智美先生に「亀茲国の仏教石窟壁画の図像学」というテーマでご講演いただきました。七月の第二十二回は、大阪大学大学院文学研究科准教授の松井太先生に「出土文書と石窟銘文からみたウイグル仏教徒の巡礼活動」というテーマでご講演いただきました。二〇一七年二月の第二十三回は、岩田真美先生（本学文学部講師）を総司会として、「九條武子」に関連したテーマのもと、赤松徹真先生（本学学長・文学部教授）、中西直樹先生（本学文学部教授）、坂口紀美子氏（フリーライター）、八木意知男先生（京都女子大学名誉教授）の四名の講師による講演会が開催されました。三月の二十四回は、本学非常勤講師・世界仏教文化研究センターP・D・の金澤豊先生に「『エンゲイジド・ブッディズム』を越えて」のテーマでご講演をいただきました。本年度の研究談話会は、予定通り各プロジェクト一回（ないしはプロジェクトによっては複数回）、計二十四回開催されました。

大宮学舎本館の両脇に佇んでいる蓮如桜が、今年も可憐な花を咲かせてくれました。猪熊通りを挟んだ東餐敷地内では、発掘作業で予定より少し遅れていた東餐の新築工事が、二〇一八年初旬完成を目指して急ピッチで進んでいます。レトロでハイ・モダンなその意匠は、周囲の歴史的景観と間違いなくマッチするものとなることでしょう。新たに設けられるコモンズやセルフラーニングの場など、アカデミックな空間のなかで学生たちが、思う存分のびやかに学び、憩う光景を待ち望んでいます。（藤本 記）

## 佛教文化研究所紀要

第55集

平成29年3月23日 印刷

平成29年3月30日 発行

編集者 佛教文化研究所  
代表者 能仁正顕

印刷者 永田文昌堂印刷部

発行所 龍谷大学 佛教文化研究所

〒(600-8268) 京都市下京区七条通り  
大宮東入ル大工町125-1  
龍谷大学内  
Tel 075-343-3311 内線 5400  
Fax 075-343-4022

# CONTENTS

## Articles:

Reprinting and Annotating the Texts Related to the *Sangō-wakuran* Incident  
.....Hisashi TONOUCHI.....( 1 )

Reprinting and Examining the Old Manuscripts and Prints of Shin Buddhism  
Held in the Ryukoku University Library  
.....Akio TATSUDANI.....( 95 )

A Study of the *Illustrated Biography of Sākyamuni Buddha* in the Artifacts  
Collected by Tada Tōkan  
.....Masaaki NOHNIN.....( 1 )

A Comprehensive Study of Buddhist Manuscripts  
.....Yusho WAKAHARA.....( 36 )

An Agronomic Assessment of the Idea of “Profound Principle of Tropical  
Agriculture” Proposed by Ōtani Kōzui  
.....Tesshu TAMAI.....( 53 )

## Report:

The *Da amituo jing* and the *Guan wuliangshoufo jing*  
.....Yue XIAO.....( 67 )

## Lecture:

The Premodern Manuscript of the Scriptural Catalogue of the Zhenyuan  
Era (*Zhenyuanlu* 貞元錄): A Key to Understanding the Circulation  
and Spread of the Buddhist Canon in Japan  
.....Toshinori OCHIAI.....( 211 )

BULLETIN  
OF  
RESEARCH INSTITUTE  
FOR BUDDHIST CULTURE  
RYUKOKU UNIVERSITY

No. 55

RESEARCH INSTITUTE FOR BUDDHIST CULTURE  
RYUKOKU UNIVERSITY, KYOTO

2016